

## 呉市緑の基本計画検討会議（第2回）摘録

- 1 日時 令和8年3月5日(木) 9時30分から11時30分まで
- 2 場所 呉市役所2階 防災会議室
- 3 概要・骨子

9：30

### 【土木部長挨拶】

おはようございます。呉市土木部長の松川でございます。本日はお忙しい中、本検討会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

第1回の会議におきましては、公園を始めとした緑のまちづくりについて、今後どのような取組が必要となるか、委員の皆さまに活発なご議論をいただきました。その後、事務局で実施しました市民意識調査などを踏まえた計画の骨子案について、本日ご議論いただきたいと思います。委員の皆さまにおかれましては、本計画の策定に向けて、幅広い見地からご意見、お考えを賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

9：35

### 【委員紹介】省略（資料-1）

9：37

### 【座長及び副座長の選任】

座長の指名により、副座長に 山本 茂樹 委員 を選出  
(副座長は前回欠席であるため、本日山本委員を選任。)

9：40

議事(1)から(3)に関して土木総務課から説明（資料-2）  
※各委員には事前説明済みであるため要点のみ説明

9：50

### 【質疑・意見交換】

委員からの主な意見は次のとおり

#### ・改定計画の骨子案について

#### ○意見1

施策等に記載されている市民参加について、市民参加は重要であり、NPOの立場から協力できることがあると思う。

前回会議で、情報発信をして、この公園はどのように使えるのか、使ってもらえる仕組み等を発信すると良いのではないかという発言をした。

現在、こどもの居場所づくりプロジェクトという取組に携わってお

り、これまでは主にこども食堂について情報発信をしていた。今年度は建物の外におけるこどもの居場所づくりについて取り組んでおり、市民団体の方などから公園の使い方などについての意見をまとめてウェブサイトを作成している。今後、市とも協力して情報発信に取り組んでいきたいと思っている。

また、ふれあい花壇制度について、知らない方も多くいる。ボランティアセンターの中でボランティア情報誌を毎月発行しているため、その中でふれあい花壇についても紹介できれば良いと思う。こちらも市と協力しながら取り組みたい。

#### ○事務局（土木総務課長）

ご意見いただいたとおり、情報発信は大事であると思う。ふれあい花壇は、現在利用いただいている方はいるが限られており、まだ知らない方も多いと思う。今後皆さんにもご協力いただきながら活用いただけるよう進めていきたい。

#### ○田中座長

いろいろな立場の方と連携しながら情報発信できると良いと思う。

#### ○意見 2

骨子を拝見して数点ご提案したい。

一つ目として、昨今獣害が多く発生しているので、緑をまもる・いかすということを議論する際に、シカなどの獣害への対応についても検討した方が良いと思う。

二つ目として、昨今は企業が緑づくりに参加し投資を行っている。緑がESG投資の対象になることがあるため、例えば、呉市内でESG投資の対象地区を設定し、そのような企業を誘致するなど、企業の投資対象となる場所を作っていくという考え方も必要であると思う。

三つ目として、グリーンインフラは、グレーインフラに対する言葉で、インフラ整備に代わるものを緑の力で対応していくもので、代表的なものが雨庭である。雨庭とは、治水の観点から雨水が浸透する箇所を小さくても多く作ろうというものである。このようなことを踏まえて、詳しく検討していくことも必要であると思う。

四つ目として、生物多様性について評価するシステムが重要であると思う。それにより、活動している団体や管理している地域の方の社会的な認知度が高まると思う。

五つ目として、観光としての緑に関する項目が入っていないように感じた。仙台の街路樹は、観光の資産として使われている。街路樹がきれいに管理されており、それを目的に仙台を訪れる方も多い。そのような目標設定をしていくと、5年後などには、緑で潤った街になる

のではないかと思う。

六つ目として、ふれあい花壇に関連して、企業の花壇も作れたらと思っている。経済面で、採算がとれるかという問題はあるかもしれないが、広島市内でもそのような活動が進められているため、妥協点を見つけながら進められれば、少しずつでも街を花でいっぱいにする方向性を見出せると思う。もちろん、市民の方が参加することで公園に対する愛着が深まり、基本方針の主語である「みんなで」の実現に近づいていくのではないかと思う。

七つ目として、「みんなで」進めていく上で、進めるためのガソリンや道の部分がないと続いていけないと思うため、そのような視点での整理は必要であると思う。例えば、環境省などが実施されている評価制度について、登録する場所を作ったとしても、看板が設置されるだけで、その後は自分たちで発信しなければならないといったものではなく、登録時に企業や団体にインセンティブを少し与えたり、専門的な方からの支援をするなど、「みんなで」進めるということは、そこまでのフォローをする必要があると思う。

#### ○事務局（土木総務課長）

獣害について、昔からイノシシ被害が多かったが、近年はシカも目撃されている。イノシシは豚熱という感染症により被害が抑えられている時期もあったが、最近では活動が活発化してきており、市も対応を行っている。緑の手入れが行き届いていないことにより獣害が増え、緑がダメージを受けていることもあるため、必要な視点であると思う。

企業が活動をするための土台作りについてもご意見をいただいた。他部署での取組ではあるが、グリーンヒル郷原の裏にある遊歩道があまり活用されず木が生い茂った状態であった。その一部を市が企業に貸し出すことで、企業から樹木の間伐等の管理を協力いただくことができ、企業では従業員の交流イベントをそこで実施できたということがあった。今後、企業との協力は必要なので、その考え方は重要であると思う。

観光の視点が不足しているという意見については、そのとおりであると思う。例えば、音戸の瀬戸は、桜とツツジの開花時期には多くの方に訪れていただき親しまれている。緑は観光資源として重要であり、音戸の瀬戸の再整備も進めているところなので、考えていきたい。

最後に頂いた企業の緑に関する活動に対して、インセンティブを与えるという視点は非常に重要であると思う。現時点で該当する制度があるかはわからないが、呉市の緑を「みんなで」作っていく上では必要であると思うので研究していきたい。

#### ○田中座長

「みんなで」には市民も企業も含まれており，その方々が活動を進めていくためのきっかけが必要ではないかと思った。また，併せて評価システム・仕組みも必要であると感じた。この評価システム等について，何かご存じのことがあればお話しいただきたい。

#### ○意見 3

環境省の評価制度というのは，自然共生サイト（OECM）のことであると思う。先日，三原市でOECMに登録された記念の講演会に出席したが，その際に広島県で登録されている場所の紹介もあった。生物多様性に興味を持っている方々は，OECMに登録された場所を見に行くツアーが行われていることも多いが，OECMを知らない方も多くいらっしゃると思う。

呉市でも市主催の講演会として，生物多様性の保全に力を入れている企業などを，制度の紹介と一緒に市民にアピールする機会が作れると良いと思う。講演会の開催においては，協力できる部分もある。これだけでは足りないかもしれないが，一つの方法かと思う。OECMの登録は広島県内では9カ所ほどあるが，呉市内には現在は登録がない。音戸の瀬戸公園や灰ヶ峰公園はOECMの登録に当てはまるのではないかと思うが，活動されている方が意識していない部分もあると思う。情報提供をしながら今まで管理されてきた方々が正当に評価され，活動が周知される機会になると良いと思う。

#### ○田中座長

日々活動されている方を評価することや，制度等も含めて知ってもらうことは大事であると思う。グリーンインフラのお話があったが，研究上で効果を試算していると，効果を示す見込みが高まっているため，暑さ対策などについて，試しに実践できると良いと思った。

#### ○意見 4

先ほどご意見があったような雨庭のように，小さく様々なところに雨水を吸収できる場所が必要であると思う。最近，企業社屋の跡地にスーパーマーケットができた。以前はツツジの生垣があっただけきれいであったが，今はおおよそ全面がコンクリートの駐車場になっている。このような開発が進むと土の場所がなくなっていて，夏は暑そうだと思う。企業に任せているとこのようになってしまうのだと感じた。

呉は，遠景では緑は多いが，市内には低木や高木など，バランスのよい自然は感じられない。小さくたくさん草や土の場所があるというのは良いと思った。

### ○田中座長

資料の緑の現況からもまちなかの緑が少ないことがわかる。遠景の緑と身の回りの緑は役割が違うので、身の回りの緑は雨庭のような形で大事にしなければならないと思う。

### ○意見 5

公園について、駐車場の有無、森林と触れ合える公園、音戸の瀬戸公園のような瀬戸内の景観を楽しめる公園など、それぞれ機能が異なると思う。駐車場の有る公園は、遠くの人にも来てもらえるため、魅力的な公園として整備をした方が良い。公園を分類したうえで、それぞれの公園を、これからどのように整備・管理をするか、整備の考え方を提示してもらえると良いと思う。

また、文章の中に、「生物多様性」が少ないと感じた。今、灰ヶ峰公園ではギフチョウの保護のための取組をしている。ギフチョウは、山口県ではほとんど全滅に近く、捕獲禁止になっている。広島県では捕獲禁止ではないが、絵下山（広島市）では姿を見なくなってしまった。近隣の山では、シカの食害で食草のサンヨウアオイがほぼ全滅しており、この近くでギフチョウを見ることができているのは灰ヶ峰しか残っていないと感じている。しかし、呉の山にもシカが入ってきているため、いつどのようになっていくかわからない。

希少種について触れ合える場所としてアピールするなどの取組も必要であり、公園を分類して考えていく必要があると思う。

二級峡公園や野呂川ダムの広場は山が近く、草刈りなどの管理が行き届いていない箇所も見られるので、これから10年で公園整備を進める中で、希少種も含めて景観のある公園の管理・保全を進めていただけたらと思う。

### ○事務局（土木総務課長）

公園の役割について、公園には種類があり、皆さんが使っている街区公園は地域の公園、音戸の瀬戸公園は風致公園など、それらをまとめて同じ役割を与えると公園としての魅力が減ってしまうと思うため、公園の役割を分けて方針等を示した方がよいというご意見はそのとおりであると思う。どこまで計画の中で示すことができるかはわからないが検討していきたいと思う。

また、公園の管理が行き届いていないというご指摘はそのとおりであると思う。呉市としても、予算の問題もあり、すべてに対応できておらず、皆さんからご指摘をいただいている。この計画に基づいて適正に管理し、予算も確保できるようすすめていきたいと思う。

○田中座長

そういった予算確保などに向けても、役割の整理は必要かと思った。

○意見 6

確かに生物多様性に関する記載は少ないと思った。シカの食害について、森林整備でも同様に、植栽したものがすぐに食べられてしまうことがほとんどである。生物にとっても脅威であると思うため、対策を考えながら進めて行けたらと思う。生物多様性については今後も大事なことであると思う。

お金がないことは理解しているが、一つ方針を決めて、市と企業がどのような協力体制を組めるのかを考えると、より良くなると思う。協力体制が企業にプラスになる可能性もあると思う。その結果、企業の価値の向上などにつなげていくことができると整備費を他で捻出できるようになると思う。

○田中座長

生物多様性の側面を計画の中でもう少し強く示してもよいのではというご意見だった。また、最後の「みんなでつなぐ」の部分は、工夫できる部分はあると思うので、もう少し考えて進めていけると良いと思う。

○意見 7

基本方針 2 の 4 - 3 「適切な公園の維持管理」の項目について、予算や人手が足りず管理が難しいという話があるが、東広島では、酒の原料である地下水を守るため、ボランティアの方が自費で来て、山を整備する活動が 20 年以上続いている。

三原市で O E C M の登録を受けた場所は、世羅台地周辺にしかいないと言われているヒョウモンモドキの保全をしている場所で、草刈りなどの管理は市民が行っている。賛否はあると思うが、ギフチョウなどシンボル生物を決めて、その種を守るためにみんなで整備しましょうと打ち出して、興味を持ってもらえる人を増やす方法や、最近人気のトレイルランニングなどで開放して山の手入れを手伝ってもらうなど、人を集める方法はあると思った。

4 - 3 の「適切な公園の維持管理」については、基本方針は「みんなで作る」なので、市民が整備に関われる仕組みを作るという視点も入れていけると良いと思った。

○田中座長

市民の方や一般の方と関わっていける仕組みをどう作っていくかという視点が必要ではというご意見だった。

### ○事務局（土木総務課長）

市の力だけで公園や緑を守っていくのは難しい時代であると思うので、活動に対して、いかに興味を持っていただき、市民の方に参画していただくかが大切であると思う。参加人数は多くはないが、当課でも自然観察会を実施しており、他部署では、どんぐり塾という市民ボランティアを育てる活動を行っている。情報共有を行い、市民の皆さんに興味を持ってもらい、みんなで緑を守っていく活動につなげていくことが一番大切であると思う。

### ○田中座長

「みんなで」が大きなキーワードになっているため、そのあたりをどのように支えていくかを計画の中で記載した方がよいというご意見はその通りであると思う。

### ○意見 8

この会議から参加させていただき、まず、とても広い視点での計画だと思った。広いプロジェクトであるため、こういう緑を増やしたいという単発の視点だけでなく、どのように市民や観光客を緑に導いて楽しんでもらうかというゴールを意識しながら進めていくと面白いと思う。

個人的な思いとしては、狭い平地が山で囲まれているのが呉市の特徴でありながら、獣害等もあるからか、山を歩く習慣が少ないと思う。「歩ける山」を実現できると良いと思っている。音戸の瀬戸公園が整備され、観光の拠点になるのであれば、音戸から休山に人を導いて、休山の山頂から呉市の景色を楽しんでいただきたい。音戸の瀬戸公園が注目されるのであれば、灰ヶ峰まで人を呼ぼうと思うと大変であるが、せめて休山まで人を導けると良いと思う。

様々な取組の中で予算や人手が足りないのはそのとおりであると思うので、市民参加や企業参加はもちろん考えていくべきであると思う。そこで重要になるのが、コーディネートは誰がやるのかという点であると思う。市がやるのか、コーディネートも市民・団体に委託するのかは、計画としては詳細すぎる内容かもしれないが、最終的にはそこが肝になると思うため、そこまで考えると実現性が高まると思う。

また、限られるリソースで進めるのであれば、一点集中で成功事例を作っていくというのも方法の一つであると思う。

### ○田中座長

確かに、日本では山を歩くことは少ないと思った。海外は、山を歩く文化があるように思う。山を歩くことが日常的に発生すると良いと思うが、最近ではトレイルランニング等で増えてきていると思う。音戸の瀬戸公園から休山などを歩いてもらうというのは面白い取組であると思うため、戦略的に考えられると良いと思う。

「みんなで」進めることを考える中では、その場を取り仕切るコー

ディネーターの役割は必要であると思う。

#### ○事務局（土木総務課長）

コーディネーターを市が行うことは、予算や調整の面で難しいと思うので、スキル等を持っている方に調整役として入っていただけると今までよりも良くなると思う。現時点で具体的にはわからないが、一つの道筋として、そのような方向性はあると思う。

どこかで成功例を作るといふご意見は、そのとおりであると思う。一つの事例が注目されれば、そこから波及していけると思うので、そのような場所は作っていききたい。

#### ○意見 9

先ほどの東広島の保全活動の事例は、海外から視察も訪れられていて国の環境白書にも記載がある成功事例であると思うので詳細を紹介する。

西条はお酒が有名なまちであり、お酒の仕込み水を守るために山を保全しようということが活動の発端であった。当時、ある酒蔵の社長が山岳会の会員であり、山の保全に対する思いが強かったことから活動につながった。組織は、酒造協会・大学・市が入った組織として立ち上げられ、お酒の売り上げから1升当たり1円を活動資金に充てている。活動当初はコンサルタントが事務局を担っていたが、そのあとは酒造協会に所属している酒蔵の取締役の方が事務局を行っていて、年間4・5回、山の手入れをする企画をしている。企画の案内を出すと、企業のCSRや大学の授業の一環として、50人から多い時には数百人が集まる。資金は、手入れに必要な道具の購入等に充てている。山を守るために、企業が売上の一部を拠出する仕組みを日本の中でいち早く作ったことが、この活動が注目されているポイントである。

活動資金をどのように用意するかも勿論だが、事務局となる人材についても専任として常駐しない方法もあると思うので、呉市に合った方法を模索できると良いと思う。

#### ○田中座長

西条の取組事例は、お酒の水を守るというわかりやすいストーリーがある中で、呉市は何を掲げるとよいのかを考える機会があるとよいと思った。ストーリーがしっかりあると、活動のきっかけになると思う。計画の中でどこまで記載できるかはあるが、取組に当たっては、そのようなことを意識する必要があると思う。

#### ○意見 10

話を聞いていて、テーマは必要だと思った。

以前、神奈川県の実鶴で美しい林に出会った。それは「魚つき保

安林」という分類の林で、魚類の繁殖や生息環境を守るための保安林として指定されている。呉はカキ等の漁業も盛んであるため、海や川沿いの森を設定して、漁業のための取組みにするのも良いと思った。

#### ○田中座長

目に見えないものをストーリーづけて、わかりやすいように伝えて共感してもらうことは、緑を使うときには大事な視点であると思う。

#### ○意見 1 1

ストーリーを基に自然保全を進めるのは良いと思う。西条の例では、水を大事にしないと利害があることと、西城＝お酒のまちという地域のアイデンティティを守ることに繋がっている点が、ストーリーとして強いと感じた。カキなどの海産物を守るためにというのは良いストーリーであると思った。

ギフチョウについて、委員になって初めてそのような蝶がいることを知った。興味を持ってもらうためにはどうすればいいのか、という議論があったが、そもそも知らない人も多いので、まず知ってもらうことが必要であると思う。

また、個人的には緑が観光資源になることに期待している。

人口減少社会の中で、今後、コンパクトシティの形成に向けた取組を進められていくのは良いと思うが、呉市は広くて横長の地形であるため、市街地以外に人の流れを創出する上で、緑地の整備が有効な手段の一つであると思うので、取組み内容にも観光の項目があると良いと思う。

公園を仮に観光地として整備するとしても、例えば、緑があるだけ、また、風景がきれいなだけでは人は集まりにくいと思うので、100万本のひまわり畑や、梅の花がきれいなど、公園の目玉になるものがあると人が集まりやすいと思う。

#### ○田中座長

ストーリーが大事であるということと、いろいろな方に知ってもらうことが必要であるというご意見であった。また、知ってもらうときにストーリーもセットに伝えるとよいと思う。人はストーリーとセットに理解すると言われているため、ストーリー付きで知ってもらうことが必要であると思う。

また、観光の側面も重要ではないかというご意見で、人の観光の仕方も変わってきているので、計画の中で「観光」と強く押し出すことは必要かと思う。

#### ○意見 1 2

川尻町でこども食堂をしている。こどもの居場所づくりプロジェク

トとして、2カ月に1回関係者が集まって会議を行い、こども食堂だけでなく、外でも居場所を作ろうと考えが広がってきている。みんなですべてを進める中で、行政の方だけでは細かいことまで行き届かないことも多いと思う。その中で、自分ができることとしては、自分たちが使う公園を、子供たちと一緒にきれいにすることであると思う。子供たち自身でごみ拾いなどを行うことで公園をきれいに使う意識も高まると思う。きれいになった公園にふれあい花壇を毎年一つずつ増やしていき、地域の年配の方が花壇の管理をしていただけると、その方々にもやりがいを感じていただけたらと思う。川尻町で地域の清掃活動を行っており、1回目は海のごみ拾い、2回目は神社の清掃をして焼き芋を作ろうという活動を行った。次は公園の清掃を行うと良いと思った。

また、川尻町の中でも高齢の方が増えてきて、耕作放棄地も増えていると感じている。耕作放棄地についても、例えば草刈りをしたら、花を植えても良いなどの仕組みがあると、作業ができない年配の方と自由に遊びたい子供たちでウィンウィンになるのではないかと思う。

#### ○田中座長

「みんなで」が大きなキーワードであるが、川尻町ですでに実践されていると思う。今ある公園などを使いこなすことは大事であるため、その考えを計画にも位置づけて、いろいろな方にわかるように伝えることが必要であると思う。

#### ○意見13

先ほどの焼き芋の取組に関連して、例えば小さな公園で何かが収穫が出来てそれを食べるということは、制度上は難しい面もあると思うが、そのようなことが許容されるようになると公園の使い方も変わっていくと思う。

ポイントとなっているのは「みんなで」であるが、管理を受注する事業者目線では、公園を管理する運営費用の低減も行うべきであると思った。近年、公園の管理の方法が変わってきていると感じており、例えば、これまでは、決められた回数（年に2回など）で草刈りなどを行っていたが、最近では「性能規定」という考え方がある。回数による規定ではなく、「この草の丈がこのくらいで維持できればよい」という考え方で、事業者の中で人員配置等を工夫できる余地がある。縮減できるところは縮減しつつ、品質を下げない方法を検討することも必要だと思う。

三原市では「群マネ」という取組の導入に向けた検討が始まっている。多様な施設を含めて一括で他団体・企業に管理等を任せるとい

仕組みである。様々な課題もあるとは思うが、管理費の低減や提案を受け入れられるようになると、民間企業にもお金がまわっていくと思う。

#### ○田中座長

公園の使い方、制度やルールが障害になることはあるが、市民の利用を推進する上では、多様な窓口が用意されていて、話しやすい環境であることが必要であると思う。

2点目の運営管理の在り方については、目的に対して資金や労力を最適化するというご意見だったと思う。

#### ○事務局（土木総務課長）

市としては、できるだけ様々な利用をしてほしいと考えているが、実際には、イベントやボール遊びの音などに対する苦情が多いことも事実であるため、公園の利活用に関する方向性を打ち出しにくい部分もある。そのような中でも、公園を柔軟に活用することは必要なことであると認識しているため、どう折り合いをつけていくかが課題だと思う。

維持管理の運用の仕方について、呉市でも様々な運用方法を行っており、専門業者への委託や日常的な清掃等の管理は地元の方にご協力いただいている。例えば、造園業者への植栽の管理委託について、除草などの作業は年に1・2回であるため、夏は草が生え放題になってしまっている。また、地元の方へ協力依頼についても限度があると感じている。性能規定による管理について今後研究していきたいが、性能規定の基準の設定が重要になると思う。呉市内でも大きい公園では指定管理者制度を活用しているが、指定管理者も事業費を抑えたいという考えがあり、管理が行き届かない問題も生じている。良い事例があれば、呉市にも応用していきたいと思う。

#### ○意見14

東京都では、小さい公園を集めて包括的に指定管理を行っている例もある。DXにより現場の情報を共有することで、職員が公園に行かなくても状況を確認できるシステムを作ったところもある。工夫できる方法はあると思う。

#### ○意見15

情報発信の連携など様々なご意見をいただき、皆さんの強い思いを感じた。行政としては、国の緑の基本方針や呉市の総合計画、都市マスタープランなどの上位・関連計画と整合をとりつつ、市民の意見を取り入れて進めていけたらと思う。緑の基本計画は、幅広い施設が対象となるため、それぞれの施設に合わせた対応が必要である。また、

人口減少下で、にぎわいの拠点となる公園や緑地の整備は大切だと思う。

#### ○意見 16

基本方針2の5-2に記載のある優良緑地確保計画認定制度（T S U N A G U）について調べたところ、民間だけでなく、地方公共団体も緑地確保事業者として制度を活用できると記載があった。国が緑地の確保やウェルビーイングに力を入れているので、地方公共団体も積極的に制度を活用し、認定によって活用できる国の補助金を使って取組を進めていくと予算面の問題も解決できるのではないかと思う。T S U N A G U認定の公園を作っていくことも良いのではないかと思った。

維持費用が負担になると新たな公園は作りづらいと思う。林業を勉強していたが、合自然的な施業をすることで維持費用を下げることがあった。公園や森林でも、維持費用を下げ方は研究されている方もいると思う。この会議だけではそこまでの議論は難しいと思うので、今後、ワーキンググループ等で議論できると良いと思う。

#### ○事務局（土木総務課長）

T S U N A G U認定等について、認定されるような場所があれば、契機になると思うが、今後、そのような取組も含めてどのような可能性があるのか考えていきたい。

#### ○田中座長

維持費用を減らす方法について、何が最適であるかは引き続き、検討・研究が必要であると思う。

### 【質疑・意見交換まとめ】

#### ○田中座長

今日は幅広いご意見をいただきましたと思う。獣害、雨庭などのグリーンインフラ、評価のシステム・仕組み、観光、市民・企業の方にどのようなストーリーを作って理解していただくか、維持管理の話などのご意見をいただいた。

また、一番大事だと思うのは、緑の基本計画で「みんなで」の視点をどのように実現していくかということであると思う。計画内で記載することと今後の取組みの中で考えていくことは切り分ける必要があると思うが、今後に向けた大事なご意見をたくさんいただいた。

その他ご意見等がある方がいればご発言いただきたい。

#### ○意見 17

横浜のGREEN×EXPOのパンフレットには、日本における緑

の在り方の最先端の考え方が簡単にまとめられているので参考になると思う。

○田中座長

時代の流れとして、緑の重要性は理解されつつあり、その流れの一つであると思う。

○意見 18

基本理念の文章について、「人が中心となることを念頭に置いた都市づくり」という表現に違和感がある。

緑の基本計画の冒頭では、「人と自然の共生」について書かれているが、基本理念では、「人が中心となる」になっている。「共生」とは、お互いを認識した上で大切にするという言葉であると思うので、「人が中心」という表現に違和感がある。

○事務局（土木総務課長）

「共生」も考えているが、現在の表現はそのような印象を受ける部分もあると思うので、表現については検討していきたい。

○田中座長

まちづくりの文脈の中で、従来、自動車の移動中心など、効率性を中心に考えてきたが、人間の豊かさに立ち返る必要があるのではないかという文脈で「人中心のまちづくり」とよく言われるようになっていく。その文脈の中で記載されたと思うが、「緑の基本理念」としてこの表現とするのかという点は、確かに一度検討した方が良いかと思う。

11：20

議事（4）に関して土木総務課から説明（資料2）

11：25

【閉会挨拶】

本日は大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。次回は夏ごろの開催を予定しております。本日頂いたご意見を踏まえ、改定計画の素案を作成いたします。日程はまた調整します。

11：30

【閉会】